

## 参 考

---

重点事業編で使用している主な

「外来語等のカタカナ言葉および略語」

用語		説明	番号
ア	アクションプログラム	実行に移すための具体的な計画のこと。	12
	アンダーパス	線路や道路などを地下道の立体交差でくぐる構造のこと。	10
	イニシアティブ	率先して発言したり行動したりして、他を導くこと。	27
	インセンティブツアー	企業や団体が内部の活性化や長期的な観点からの販売戦略として、社員や関係者の販売意欲の向上のために招待する団体旅行。	34
	エキストラ	映画、演劇などで、群集シーンなどに、臨時に雇われる出演者。	32
	エコファーマー	土づくりを基本に、減農薬栽培等による持続性の高い農業生産を実践する農業者（知事認定）。	15
	オープンスペース	森林・樹林地や公園・緑地、河川、歩行者・自転車道、施設敷地内の空地など、スポーツ・レクリエーションやリフレッシュの場の提供、自然環境の美しさの演出や良好な景観形成、避難地・避難路の確保や延焼防止による防災性の向上、冬期間のたい雪スペースの確保など、多面的な機能を有する空間のこと。	11
	オストメイト	人工肛門や人工膀胱を保有する人。	41
カ	キャラバン	特定の目的のために、隊を組んで遠征したり各地を回ること。	42
	コールセンター	電話やインターネットを通じて、問い合わせ対応や商品の受注などの顧客対応業務を専門的・集約的に行う組織・施設。	29
	コミュニティ	居住地や関心を共にすることで営まれる共同体。	19
	コミュニティビジネス	地域密着型市民事業。地域住民が主体となって、その地域の問題を解決するうえで、地域内の資源を活用しながら、継続的なビジネスの形で展開し、地域を元気にしていく事業。	37
	コンペティション	競争。競技。競技会。コンペ。	23
	コンベンション	大会、会議、展示会、見本市、イベントなどの非日常的な人の集まりを核として、人や物、知識、情報、技術を呼び込むしくみ。	4
	コンポスト	有機物を微生物の働きで発酵、分解し発酵熱により雑菌を死滅させ、完熟させた有機質肥料のことで、元々たい肥等の有機質肥料が主だったが、近年は主に都市部からの生ごみや下水汚泥からも作られるようになっている。	44

用語		説明	番号
サ	ストック	物を蓄えることや蓄えた物のことをいう。本書の「既存ストック」とは、道路、公園、下水道や学校などの既に整備された社会資本のことを指す。	5
	ソフトランディング	(宇宙船などの)軟着陸の意味。ここでは、産業構造の転換等を円滑に進めること。	30
タ	チップ	破碎処理したもの。	16
	デイサービス	施設等に通って受ける介護などのサービス。	40
	テクニカルツアー	工場や店舗などのビジネスの現場や関連する博物館などの施設の視察や関係者による説明・紹介などを含む旅行。	35
	デジタルコンテンツ	ソフトウェア、音楽データ、画像、ビデオ、書籍など、デジタル・データとして流通可能なもの。	7
	トップアスリート	高度な競技力を有する運動選手。	46
ハ	パートナーシップ	共同で何かを行うための、対等な協力関係のこと。	45
	バイオ	バイオテクノロジーの略。生物工学。生物を工学的見地から研究し、応用する技術。	38
	パフォーマンス	街頭などで行う演技、演劇、演奏などの表現。	33
	パブリックコメント	政策案を広く公表して意見を求め、寄せられた意見を考慮して決定するとともに、意見に対する考え方を公表するしくみ。	3
	バリアフリー	高齢者や障がいのある人などが社会生活をしていくうえで障壁となるものを除去すること。	17
	ビジネスモデル	利益を生み出すしくみ。	14
	ビジョン	将来、望まれるものとして、心に描く展望。	1
	ファンド	基金。資金。	26
	フォーラム	一つの問題に対して、出席者全員が参加して行う公開討論。フォーラム・ディスカッションの略。	9
	プロジェクト(チーム)	研究や開発の計画、企画(の特別な目的のために編成されたチーム)。	2

用語		説明	番号
	プロパー	固有の、企業独自の、という意味。金融機関独自の融資制度を「プロパー融資」という。	22
	ベンチャー	冒険の意味。「ベンチャー企業」とは、起業家精神に富み、新たな商品やサービスの開発といった創造的な事業活動に取り組む中小企業をいう。	28
	ホスピタリティ	来客に対して、受け入れ側の人々が気持ちよく接し、快適で強い印象と深い満足感を与え、再び訪れたいくなるようにさせる心のもったもてなし。	31
マ	マーケティング	消費者の求めている商品・サービスを調査し、供給する商品や販売活動の方法などを決定することで、生産者から消費者への流通を円滑化する活動。	8
	マネジメント	経営や運営について、組織だって管理すること。「環境マネジメントシステム」とは、組織（企業等）の活動や提供するサービスが環境に与える負荷を低減することを目標として、環境保全に向けた取り組みを継続して改善していくための組織的なしくみのこと。	43
	ムーブメント	集団の行動のこと。	13
ヤ	ユニバーサルデザイン	高齢者や障がい者のための特別な仕様をつくるのではなく、最初から多くの人の多様なニーズを反映して作られた製品、建物、環境のデザイン。	39
ラ	ライフサイエンス	生命科学。生命現象について、生物学を中心に、化学・物理学などの基礎的な面と、医学・心理学・人文社会学・農学・工学などの応用面とから総合的に研究しようとする学問。	36
	ライフサイクルコスト	建築物の生涯費用。企画段階から設計、建設、運用・管理、解体・廃棄に至る全過程でかかるコストの総計。	20
	リカレント	循環するという意味。「リカレント教育」とは、一度社会に出た人が必要に応じて学校に戻り、学べるように組織された教育システムのことをいう。	21
ワ	ワークショップ	専門家の助言を受けながら、参加者が共同で研究や創作を行う場。	6
他	H A C C P	ハザップ。〔Hazard Analysis and Critical Control Point of evaluation〕の略。食品の品質管理の手法。食品の製造過程で発生する可能性のある衛生・品質上の危険性を分析し、安全性確保のために監視すべき重要管理点を定め、厳格に管理・記録を行うシステム。	25
	I S O	〔International Organization for Standardization〕の略。国際標準化機構。工業・農業製品の規格の標準化を目的とする国際機関。	24
	N P O	〔Non Profit Organization〕の略。民間の非営利組織のことをいう幅広い概念。一般的には、継続的、自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない団体の総称として使われている。	18